

第4回 番組審議会議事録概要

1. ◆開催日時

平成27年10月5日(月) 正午より

2. 開催場所

東京都港区台場2-4-8 フジテレビ本社 会議室

3. 出席者

委員長 : 吉岡忍

委員 : 杉浦克昭、藤原庸介、竹中尚人、渡邊健一、池田哲雄、升本喜郎、林香里

株式会社サテライト・サービス

清水賢治、岡崎洋三、手塚久、窪田正利、五百城重典、平野雄大、関克哉、
江尻教彰、宋ハナ

株式会社フジテレビジョン

門澤清太、永竹里早、鹿内植、

ディスカバリー・ジャパン株式会社

道井隆之、松本ちえこ

株式会社ジュピターテレコム

西山彰、徳山真知子

4. 議題

1) 「ウルトラ怪獣散歩 (大阪編)」

平成27年9月22日 24時からフジテレビ ONE スポーツ・バラエティでVTR放送

2) 「怪物魚を追え! (最凶ピラニア (二))」

平成27年9月10日 22時からアニマルプラネットでVTR放送

議題番組について各委員から次のような意見が出された。

「ウルトラ怪獣散歩」

- ・たこ焼きを食べるフリをするなど怪獣が人間的すぎるので、怪獣からみた人間という視点を入れてみるのはいかがでしょうか。
- ・フジテレビ ONE の視聴者層に合っている番組だと思いました。ウルトラ世代かどうかで分けられると思いますが、怪獣がわかる世代ですと非常に面白い番組だと思いました。
- ・オープニング映像や歌など昔を思い出させる演出で子供の時の記憶が蘇りました。
- ・他の回ではどこへ行って、彼らのリアクションはどうだったか見てみたいと思いました。

- ・台本とアドリブの混ぜ具合も素晴らしく、感心しました。
- ・エンディング曲がとてもよく、もう一回見てみる気になりました。「俺たちはどこにもいけないんだ」という歌詞に哀感を感じました。
- ・「人間の方が怪しいんじゃないの」というセリフにもあるように、人間のおかしさをもう少し出したら世代を超える何か生まれるのではないかと思いました。
- ・怪獣の紹介や過去のエピソード紹介をもう少し増やしたほうがいいかと思います。
- ・とてもメッセージ性があり、息子も見て凄くはまりました。世代関係なくコミュニケーションツールになるような番組だと思います。
- ・大人向けならもう少し社会風刺要素をスパイスとして入れてもいいかもしれません。
- ・宣伝の仕方を、もう少し分かりやすくしたほうがいいと思いました。
- ・動物・怪獣の擬人化が日本は得意だと改めて感じました。

「怪物魚を追え！」

- ・ピラニアは動かなければ襲ってこないというナレーションなど、知られている情報を入れる必要があるのかと思うところがありました。
- ・再現フィルムに関しては少し表現がオーバーすぎると感じる場所がありました。
- ・エンタテインメント作品でありながら、専門家の意見や事故関係者・再現映像・当時の新聞の写真などノンフィクション要素を散りばめるなど、ピラニアの習性など分かりやすく上手につくられていて、魚や釣り・生物に興味がある層には非常に面白く見られそうです。
- ・ある種の歴史的事実・科学的の正確性など、どこまで真実かというバランスを取るのが難しいかと思いました。
- ・この番組で描いているピラニアと共存する人間を通して、自然と人間の共存について考えることが出来ました。
- ・なぜピラニアがいるところで暮らしているのかをもう少し掘り下げれば、体験に基づく詳しい意見が聞けて役立つ情報を得られるのではと思いました。
- ・翻訳が直訳なのかうまく差し込んだのか分かりませんが、次のブロックに行くところがとても良かったです。
- ・シリーズ番組だと思いますが番組概要を読んでも内容の把握が難しくもう少しジェレミさんの説明があればいいかと思いました。ジェレミさんのキャラクターを知らない視聴者もいると思いますので、毎回番組冒頭に紹介VTRのようなものを入れたほうが見やすいかと思います。
- ・海外と日本との作り方の違いを感じました。例えば再現映像の場合、日本はテロップで再現と明記しますが海外の場合は入ってなく、視聴者からすると混同する可能性があるのではと危惧しました。もし日本で同じテーマで作ったら、おそらくタレントさんを連れて違う雰囲気の作品になるんだろうと思いました。

制作サイドからは

「各チャンネルの想定している視聴者層について」

- ・フジテレビ ONE プロ野球中継など男性向けを意識し編成しています。フジテレビ TWO ドラマ・アニメを主に編成し女性向けを意識し編成しています。アニマルプラネットは小学生の子供を持つ 30～40 代を想定しています。

「怪物魚を追え！」の場合、アメリカでは女性視聴者が多いそうですが、アニマルプラネット（日本）に関して調査の結果、男性視聴者が多かったです。

「2つの番組はどうやって選んだのか？」という委員からの質問に対して

- ・サテライト・サービスで放送する 5 チャンネルの中、オリジナル番組もしくは話題になった作品を審議対象のチャンネルに推薦してもらい決めています。

「ウルトラ怪獣散歩」について

- ・最後の曲は完全オリジナルです。深く社会に切り込もうとは思わず、取材を断られていく制作の気持ちを歌詞にしました。
- ・視聴ターゲットに関しては、40～60 代のおじさん、精神的には小中学生の大人をターゲットと考えて作っておりますが子供からも意外と反応があります。
- ・低予算で変わったものを見せ続けていくことを念頭に置いて作っております。
- ・怪獣はどこか悲しさを持っているのでそこを出しつつ、何かメッセージを伝えられるように構成を考えていきたいと思えます。
- ・ちなみに、ウルトラシリーズは 1966 年からスタートし、最も派生シリーズが多い番組としてギネスに登録され「ウルトラ怪獣散歩」もその一つとして登録されました。

「怪物魚を追え！」

- ・自然と人間との共存はチャンネルが伝えたいメッセージでもありますので、そこが委員にも伝わり感動しました。
- ・委員から意見のあったアバン、紹介 VTR に関しては是非実現したいと思えます。
- ・アニマルプラネットチャンネルは動物専門チャンネルとして知られておりますが、ここ数か月、地球に関するテーマの番組がよく見られていると感じ、アニマル & プラネットそして、それに加わる人々の生活にも焦点を当てた番組を編成していきたいと思えます。

その他

- ・会社側から「移動受信用地上基幹放送（V-High 放送）」の現状について説明した。

5. 報告事項

- ・次回は平成 28 年 3 月 14 日（月）を予定。
- ・議題は「フジテレビ TWO」「フジテレビ NEXT」の番組の予定。